

舞台実務を学ぶ

～舞台機構調整技能士を目指して～ 2021年2月発行



音楽サービス創造学科

白木・丸山・金澤（2年生）、内藤・佐藤・堀（1年生）



私たちが取材をしました！

舞台実務の学びって？

舞台やホール管理の歴史、各設備の役割を学びながら、インターン実習やボランティアを通して、舞台機構や機材、用具などのイベント運営業務のノウハウを身につけていきます。

楽器店のイベントだけでなく、劇場やホールのイベントでも学びを活かすことができます。

さらに、基礎から実践的なことまで身につけ、国家技能検定の取得を目指すこともできます。



大橋直馬 先生

舞台機構調整技能士って？

国家技能検定資格の1つです。演出、構成担当者の指示で、演劇などの舞台の音響プランを作成。これに基づき、すべての観客が臨場感ある音を聴けるよう、音響機器の配置や操作をします。会場での音の響き方を正確に聞き分け、どこにどんな機器を使うか判断できなければいけません。また舞台に必要な効果音、BGMなどのテープ編集もします。



1年次 基礎力

マイクやスタンド、音響卓、ケーブルの扱い方、舞台機構や幕の役割、ロープの結び方など、基礎から学びます。



Q.現在、授業で学んでいることは？

A.マイクと音響卓を使い、「音を收音する」ノウハウを学んでいます。

Q.ズバリ！あなたにとって舞台とは？

A.演者に気持ちよく演じてもらえる場所。そのような場所にしたいです。



1年生
G.Hくん

2年次 基礎力＋応用力



ワイヤレスマイクの取り扱いや、劇をクラス内で上演するなど、より実践に近い形で授業を行っています。



Q.現在、授業で学んでいることは？

A.ワイヤレスマイクや電波、機材の成り立ち、使用用途について学んでいます。

Q.ズバリ！あなたにとって舞台とは？

A.演者だけでなく、観覧者もスタッフの人も気持ちが一体となる場所だと思います。



2年生
K.Nさん

3年次 実践力

授業での学びを活かして、地域のイベントや野外フェスのインターンシップに参加しています。（今年度はコロナにより自粛）舞台設営や音響作業など、普段の授業だけでは得ることができない実践を積んでいます。



学校法人 中部学園（職業実践専門課程認定校）
中部楽器技術専門学校
CHUBU TECHNICAL ACADEMY OF MUSICAL INSTRUMENTS
〒466-0027 名古屋市昭和区阿由知通3-13-6



0120-856-854

TEL:052-741-6788 学校案内無料送付中

URL:www.chbugakki.ac.jp

